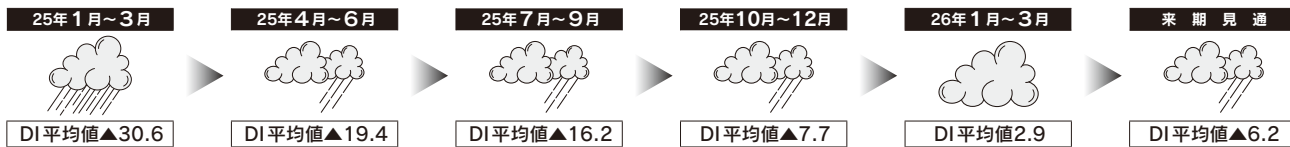


県内中小企業(製造業)景況動向

平成26年1月～3月期

本会調査結果概要



業種別景況動向

食料品

7-9	10-12	1-3	来期見通
▲32.3	▲24.0	▲4.6	▲8.1
<p>前年同期比の売上高DIは3.3、収益性DIは▲12.5で、両方を合わせたDI平均値は▲4.6となり、「曇」模様に転じている。来期見通しは、3.5ポイント下降して▲8.1となり、「小雨」模様に転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高DIは▲32.2、収益性DIは▲21.5となった。</p> <p>また、雇用人員判断DIは10.3、設備操業率DIは▲11.6、設備投資実施率は20.7%となった。</p>			

繊維・同製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
▲40.3	▲25.0	▲20.4	▲20.4
<p>前年同期比の売上高DIは▲11.1、収益性DIは▲29.6で、両方を合わせたDI平均値は▲20.4となり、「小雨」模様が続けている。来期見通しも、▲20.4となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高DIは▲14.3、収益性DIは▲23.8となった。</p> <p>また、雇用人員判断DIは不足、過剰とも15.8%で0.0、設備操業率DIは▲10.0、設備投資実施率は4.0%となった。</p>			



概況

売上高と収益性を合わせたDI平均値(前年同期比)については2.9となり、前回調査(25年10～12月期)から10.6ポイント上昇している。来期見通しにおいては、▲6.2となっている。

売上高DI(前年同期比)については11.7となり、前回調査から17.0ポイント上昇している。来期見通しにおいては、▲3.4となっている。

収益性DI(前年同期比)については▲5.9となり、前回調査

から4.1ポイント上昇している。来期見通しにおいては、▲9.0となっている。

業況DI(前年同期比)については0.0となり、前回調査から4.3ポイント上昇している。来期見通しにおいては▲5.5となっている。

原材料価格DI(前期比)については24.9となり、前回調査から9.7ポイント下降している。販売価格DI(前期比)については2.5となり、前回調査から0.9ポイント上昇している。

資金繰りDI(前期比)については▲9.9となり、前回調査か




ら5.6ポイント下降している。

金融機関の態度DI(前期比)については▲2.0となり、前回調査から3.9ポイント下降し硬化している。





設備投資実施率については27.6%となり、前回調査より2.1ポイント上昇している。業種別で最も高い実施率となったのは、「機械・機器」の43.5%で、目的別では「増産」が34.0%でトップであった。

設備操業率DI(前期比)については、▲0.6となり、前回調査から9.4ポイント下降している。





紙・加工品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲23.3	12.3	▲6.7	▲16.7
<p>前年同期比の売上高D Iは増加、減少とも20.0%で0.0、収益性D Iは▲13.4で、両方を合わせたD I平均値は▲6.7となり、「小雨」模様になっている。来期見通しは、10.0ポイント下降して▲16.7となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲26.6、収益性D Iは▲20.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲6.6、設備操業率D Iは▲14.3、設備投資実施率は20.0%となった。</p>			





木材・木製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲50.0	20.0	22.2	5.6
<p>前年同期比の売上高D Iは33.3、収益性D Iは11.1で、両方を合わせたD I平均値は22.2となり、「薄日」模様が続いている。来期見通しは16.6ポイント下降して5.6となり、「曇」模様になる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは11.1、収益性D Iは好転、悪化とも11.1%で0.0となった。また、雇用人員判断D Iは不足、過剰とも0.0%で0.0、設備操業率D Iは22.2、設備投資実施率は16.7%となった。</p>			





金属・同製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲9.9	▲1.4	▲5.7	▲19.5
<p>前年同期比の売上高D Iは増加、減少とも28.6%で0.0、収益性D Iは▲11.4で、両方を合わせたD I平均値は▲5.7となり「小雨」模様になっている。来期見通しは13.8ポイント下降し▲19.5となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲17.1、収益性D Iは▲25.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲24.0、設備操業率D Iは▲4.2、設備投資実施率は23.5%となった。</p>			





窯業・土石製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
10.0	1.2	14.8	▲4.4
<p>前年同期比の売上高D Iは17.7、収益性D Iは11.8で、両方を合わせたD I平均値は14.8となり「薄日」模様になっている。来期見通しは、19.2ポイント下降して▲4.4となり、「曇」模様になる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲20.0、収益性D Iは▲18.8となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは22.6、設備操業率D Iは▲9.6、設備投資実施率は38.2%となった。</p>			

プラスチック製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
8.3	▲10.0	14.3	21.5
<p>前年同期比の売上高D Iは28.5、収益性D Iは好転、悪化とも14.3%で0.0、両方を合わせたD I平均値は14.3となり「薄日」模様になっている。来期見通しは、7.2ポイント上昇して21.5となり、「薄日」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲14.3、収益性D Iは好転、悪化とも14.3%で0.0となった。また、雇用人員判断D Iは28.6、設備操業率D Iは14.3、設備投資実施率は28.6%となった。</p>			

機械・機器

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲12.1	▲12.2	17.1	8.7
<p>前年同期比の売上高D Iは32.0、収益性D Iは2.2で、両方を合わせたD I平均値は17.1となり「薄日」模様になっている。来期見通しは、8.4ポイント下降して8.7となり、「曇」模様になる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは10.7、収益性D Iは▲5.3となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは7.5、設備操業率D Iは17.9、設備投資実施率は43.5%となった。</p>			